

新しい工業高校の再編に係る校舎等整備比較資料

目	次
1. 整備候補地の全体位置図	1
2. 整備候補地の立地評価	2
3. 整備候補地の敷地・建物評価	3
4. 整備計画検討	4～6

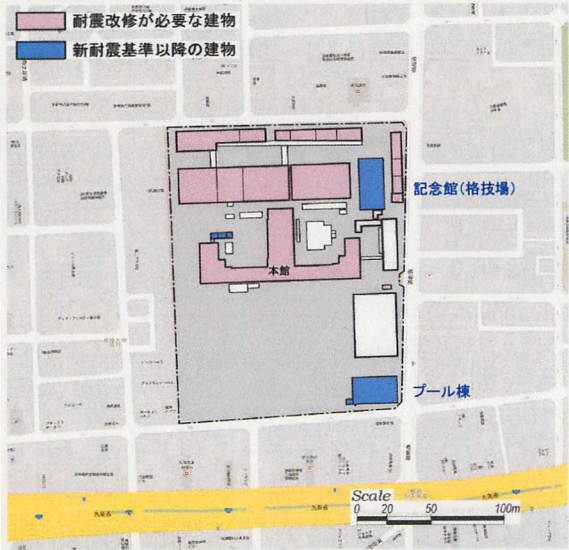
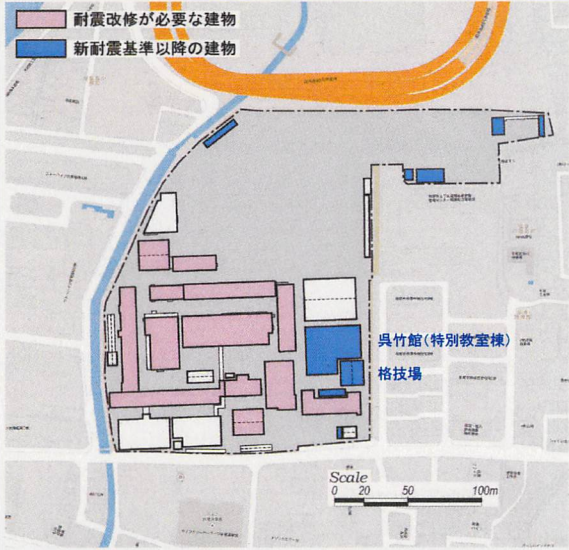
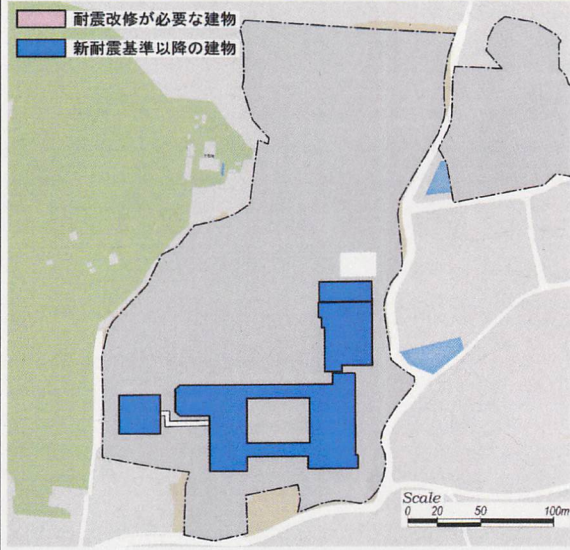
平成25年11月6日

新しい工業高校の整備候補地選定委員会事務局

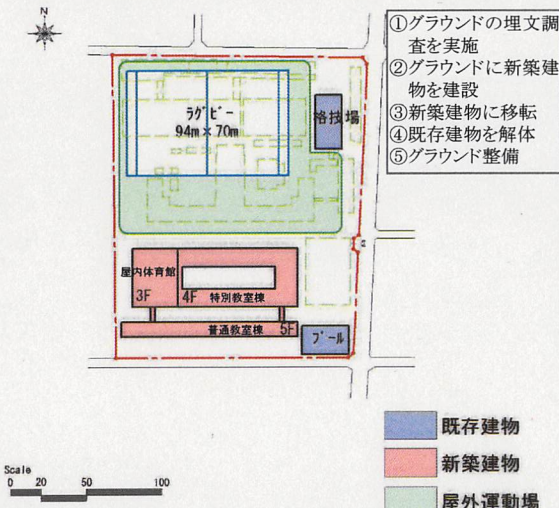
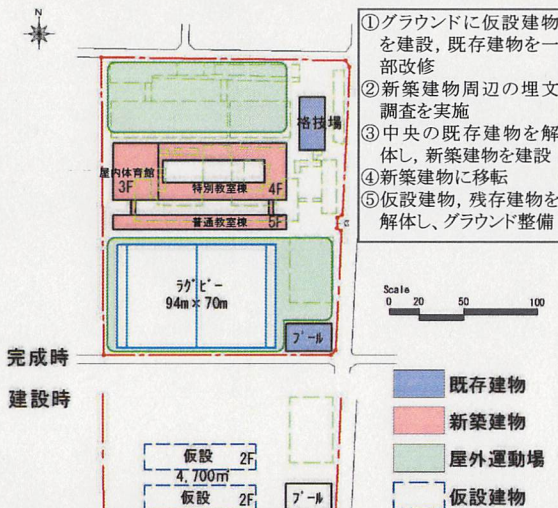
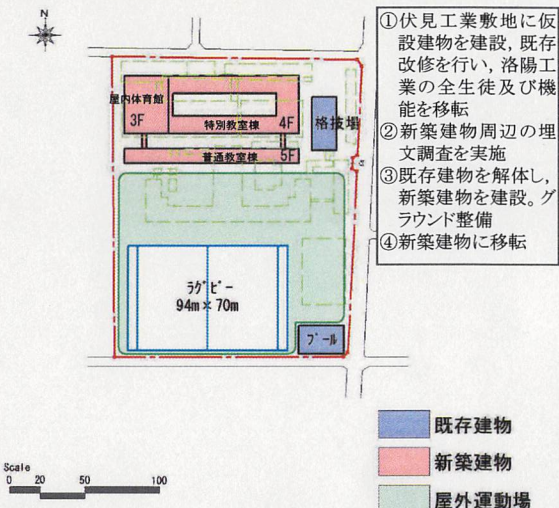
1. 整備候補地の全体位置図

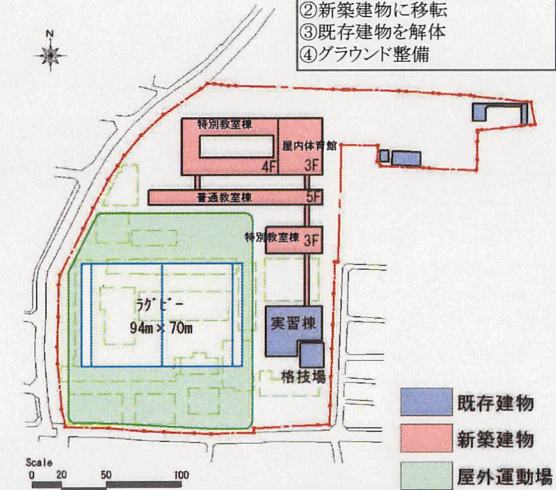
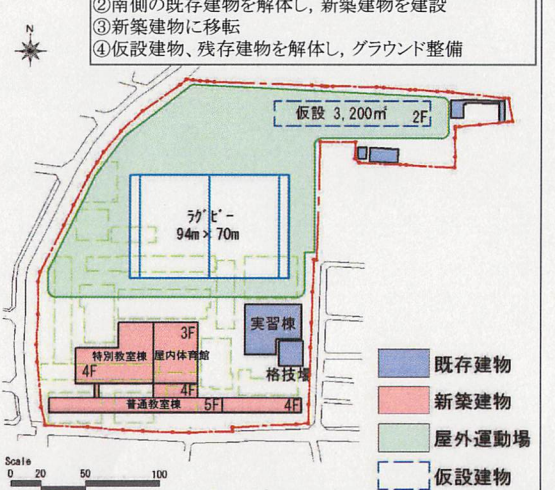
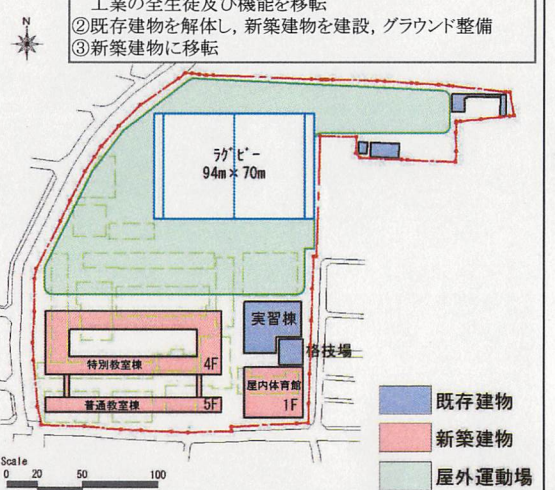


評価項目	洛陽工業高校	伏見工業高校	立命館中学校・高校
位置図	 (円は半径 500m の範囲、表記した学校等はグラウンド仮用地候補)	 (円は半径 500m の範囲、表記した学校等はグラウンド仮用地候補)	 (円は半径 500m の範囲)
住所	・南区唐橋大宮尻町22	・伏見区深草鈴塚町13	・伏見区深草西出山町23
敷地面積	・ 32,736 m ²	・ 42,728 m ²	・ 67,573 m ² （確認申請面積（借地含む））
学校履歴	- 明治 19 年京都染工講習所として、油小路下立売上の近衛町に開設 - 明治 27 年京都市立染織学校を創設。明治 28 年に釜座通榎木町上る東裏辻町に移転。明治 44 年鳥丸通上立売上の相国寺門前町に移転 - 大正 8 年京都市立工業学校、大正 14 年京都市立第一工業学校と改称 - 昭和 10 年現在地唐橋大宮尻町に移転	- 大正9年京都市立工業学校の分教場として、上京区五辻通淨福寺西入に設立 - 大正14年京都市立第二工業学校として設立 - 昭和11年現在地伏見区深草鈴塚町に移転	- 元土採場跡 - 昭和63年開校（平成26年9月長岡京市に移転予定）
周辺のまちづくり動向	平成23年度策定の『「歩くまち・京都」交通バリアフリー全体構想』により、「JR西大路駅地区」と「JR藤森駅・京阪深草駅地区」が「重点整備地区」に指定されている。両地区では、公共交通事業者、道路管理者、地域住民、利用者代表が参加する連絡会議を設置し、「移動等円滑化基本構想」（駅、道路等のバリアフリー化の具体的目標設定を行う構想）を作成することになっている。		
防災計画上の位置付け	- 京都市指定避難所（1,120人収容） - その他の指定避難所：唐橋小学校（215人）、洛南身体障害者福祉会館（245人）、八条中学校（335人）、吉祥院小学校（250人）、洛南中学校（690人）	- 京都市指定避難所（462人収容） - その他の指定避難所：龍谷大学（2,048人）、砂川小学校（321人）、稲荷小学校（352人） - 広域避難場所：京都府警察学校グラウンド・龍谷大学構内（15,000人）	- 京都市指定避難所（1,025人収容） - その他の指定避難所：深草中学校（510人）、聖母女学院（473人） - 広域避難場所：聖母女学院大運動場・深草中学校グラウンド（10,650人）
交通条件	- JR西大路駅から徒歩5分 - 市バス「洛陽工業高校前」（4系統）、「西大路駅前」（4系統）から徒歩5分	- 京阪伏見稲荷駅から徒歩7分/JR稲荷駅から徒歩12分/地下鉄十条駅から徒歩15分 - 市バス「勸進橋」（1系統）、「稲荷大社前」（1系統）から徒歩5分	- 京阪深草駅から徒歩15分/JR稲荷駅から徒歩20分 - 市バス「坊町」（1系統）、「僧坊町」（1系統）から徒歩7分
生徒の通学時の交通手段実態	徒 歩：10名（比率2%） 自 転 車：289名（比率58%） 公共交通：199名（比率40%） 公共交通の内訳：J R 134名、バス 30名、地下鉄 20名、私鉄 15名 (比率 27%) (6%) (4%) (3%)	徒 歩：13名（比率2%） 自 転 車：221名（比率35%） 公共交通：399名（比率63%） 公共交通の内訳：京阪 222名、J R 152名、地下鉄 19名、バス 6名 (比率 35%) (24%) (3%) (1%)	徒 歩：約 70名（比率4%） 自 転 車：約 30名（比率2%） 公共交通：約 1600名（比率94%） 公共交通の内訳：J R 800名、京阪 800名、バス 0名 (比率 47%) (47%)
現グラウンドが使えない場合の代替地(500m圏内)	・代替候補地は八条中学校、唐橋西寺公園、唐橋小学校、洛南中学校、吉祥院小学校があるが、いずれも利用調整不可	・代替候補地は京都府警察本部警察学校があるが、利用調整不可	・既存施設を利用するので、代替地は不要
権利関係	・特筆すべき事項なし	・特筆すべき事項なし	・校地内に借地7,731㎡あり ・JR沿いの通学路に、JRからの借地613㎡あり
コメント	- 最寄りのJ R西大路駅から徒歩5分。 - 徒歩5分圏内にバス停留所があり、循環バスを中心に複数の路線を有し、通学に十分な本数がある。	- 最寄りの京阪伏見稲荷駅から徒歩7分、J R稲荷駅から徒歩12分、地下鉄十条駅から徒歩15分。 - 徒歩5分圏内に2つのバス停留所があるが、運行本数は少ない（午前7時、午前8時に各2本）。	- 最寄りの京阪深草駅から徒歩15分、J R稲荷駅から徒歩20分。 - 徒歩15～20分圏内に2つの停留所があるが、運行本数は少ない（午前7時、午前8時に各2本）。

評価項目		洛陽工業高校					伏見工業高校					立命館中学校・高校				
配置図																
規模等	敷地面積	32,736㎡					42,728㎡					67,573㎡ (確認申請面積 (借地含む))				
	グラウンド面積	11,599㎡ (学校基本調査による)					18,951㎡ (学校基本調査による)					23,223㎡ (内テニスコート1,782㎡)				
	施設面積(延床)	22,676㎡					20,795㎡					21,710㎡				
	新耐震建物	1,550㎡ (記念館 (格技場) 及びプール棟)					4,012㎡ (呉竹館 (特別教室棟) 及び格技場など)					21,710㎡ (全て、新耐震以降の建物)				
都市計画等の制限	地域・地区等	○用途地域：第1種住居地域 ○高度地区：20m第2種高度地区 ○風致・景観：市街地型美観形成地区 ○埋蔵文化財：唐橋遺跡 (グラウンド南半分の区域)、西寺跡 (グラウンド北半分及び校舎区域) ○史跡の指定：西寺跡 (国指定の史跡) (敷地の東端にかかっている) ○容積・建蔽：200%・60%					○用途地域：第1種住居地域 ○高度地区：20m第2種高度地区 ○風致・景観：町並み型建造物修景地区 ○埋蔵文化財：不要 ○容積・建蔽：200%・60%					○用途地域：無指定 (市街化調整区域) ○高度地区：無指定 (高さ制限10m以下：第2種風致地区) ○風致・景観：第2種風致地区 ○埋蔵文化財：不要 ○その他：宅地造成工事規制区域 ○容積・建蔽：100%・30% (建蔽率は第2種風致地区による) ○緑地率：30% (第2種風致地区による)				
	特筆すべき内容	・特筆すべき内容なし					・特筆すべき内容なし					・周辺は農業振興地域及び農用地に指定されている。農業振興地域及び農用地を学校用地に変更する場合には農地法等の申請許可が必要となる。(許可期間は通常1年)				
生徒数/学級数		498人/19学級					633人 (全日制481人、定時制152人) / 22学級 (全日制15学級、定時制7学級)					1,701人 (中学校709人、高校992人) / 51学級 (中学校24学級、高校27学級)				
生徒が利用する諸室	面積	普通教室	特別教室 実習教室	屋内体育館	管理諸室 共用部	計	普通教室	特別教室 実習教室	屋内体育館	管理諸室 共用部	計	普通教室	特別教室 実習教室	屋内体育館	管理諸室 共用部	計
	備考	1,122㎡	8,499㎡	2,069㎡	10,986㎡	22,676㎡	1,168㎡	9,991㎡	1,635㎡	8,001㎡	20,795㎡	2,658㎡	5,822㎡	2,278㎡	10,952㎡	21,710㎡
		・管理諸室・共用部には、未利用室(2,699㎡)、講堂(432㎡)、食堂棟(356㎡)等を含む					・管理諸室・共用部には、未利用室(2,651㎡)、定時制専用室(普通教室256㎡、特別教室・実習教室1,333㎡)、ホール(677㎡)、食堂・厨房(396㎡)等を含む					・管理諸室・共用部には、記念ホール(929㎡)、食堂(480㎡)、エントランス(約200㎡)、メディアモール(約120㎡)、ロビー、スタジオ、トレーニングルーム(115㎡)、ランニングスペース(約350㎡)等を含む				
コメント		・敷地面積が最も小さい。 ・埋蔵文化財の本掘調査が必要。敷地の東端は国史跡のため、工事する場合は、国の許可が必要。 ・大半の既存建物は、耐震性能が低く、大規模な耐震改修が必要。また耐震改修を行った場合でも、大半の建物が10年程度で築50年を迎え、耐用年数から建替えが必要。(本館はコンクリート強度が不足し、耐震改修は困難。)					・敷地面積は、再編に必要な広さを有している。 ・大半の既存建物は、耐震性能が低く、大規模な耐震改修あるいは建替えが必要。また耐震改修を行った場合でも、大半の建物が15年程度で築50年を迎え、耐用年数から建替えが必要。					・第2種風致地区により、一定規模の緑地確保が必要であるが、敷地面積が最も大きく、十分な広さを有している。 ・全ての建物が新耐震以降の建物であり、耐震改修なしでの活用が可能。 ・建築後25年が経過(平成25年4月現在)しており、建物の全面的なリニューアルと補修が必要。 ・敷地に高低差があるため、バリアフリー工事が必要。				

4. 整備計画検討

評価項目		A案…洛陽工業敷地・グラウンド活用した建替案			B案…洛陽工業敷地・仮設校舎活用した建替案			C案…洛陽工業敷地・全ての機能を伏見工業に移転・建替案		
位置図		 ①グラウンドの埋文調査を実施 ②グラウンドに新築建物を建設 ③新築建物に移転 ④既存建物を解体 ⑤グラウンド整備 既存建物 新築建物 屋外運動場			 ①グラウンドに仮設建物を建設、既存建物の一部改修 ②新築建物周辺の埋文調査を実施 ③中央の既存建物を解体し、新築建物を建設 ④新築建物に移転 ⑤仮設建物、残存建物を解体し、グラウンド整備 既存建物 新築建物 屋外運動場 仮設建物			 ①伏見工業敷地に仮設建物を建設、既存改修を行い、洛陽工業の全生徒及び機能を移転 ②新築建物周辺の埋文調査を実施 ③既存建物を解体し、新築建物を建設。グラウンド整備 ④新築建物に移転 既存建物 新築建物 屋外運動場		
面積等	校舎等整備面積内訳	新築面積 20,500㎡ 仮設面積 不要	改修面積 不要 既存活用 1,500㎡ 既存撤去 21,200㎡		新築面積 20,500㎡ 仮設面積 4,700㎡(教室、食堂)	改修面積 1,600㎡ 既存活用 1,500㎡ 既存撤去 21,200㎡		新築面積 20,500㎡ 仮設面積 7,100㎡(伏見工業)	改修面積 4,000㎡(伏見工業) 既存活用 1,500㎡ 既存撤去 21,200㎡(洛陽のみ)	
	グラウンド面積	15,600㎡			17,400㎡ (11,700㎡+5,700㎡)			17,700㎡		
工程表 * 教育活動に影響のある期間 * 契約に係る期間は除く		 工事着工から開校までの期間：49.0ヶ月 (校舎が使用可能となるまでの期間：39.0ヶ月)			 工事着工から開校までの期間：48.0ヶ月 (校舎が使用可能となるまでの期間：40.0ヶ月)			 工事着工から開校までの期間：40.0ヶ月		
事業概算		工事種別	規模	概算費用	工事種別	規模	概算費用	工事種別	規模	概算費用
(工事単価の想定) ㎡単価		埋文調査費	5,000 ㎡	300 百万円	仮設工事費	4,700 ㎡	470 百万円	仮設工事費(伏見工業)	7,100 ㎡	710 百万円
・建設工事費 350 千円		建設工事費	20,500 ㎡	7,175 百万円	改修工事費	1,600 ㎡	280 百万円	改修工事費(伏見工業)	4,000 ㎡	700 百万円
・改修工事費 175 千円		解体工事費	21,200 ㎡	530 百万円	埋文調査費(既存周辺)	1,200 ㎡	72 百万円	埋文調査費(既存周辺)	1,200 ㎡	72 百万円
・美装工事費 60 千円		グラウンド整備費	15,600 ㎡	343 百万円	建設工事費	20,500 ㎡	7,175 百万円	建設工事費	20,500 ㎡	7,175 百万円
・仮設工事費(含撤去) 100 千円		シャトルバス運行費	一式	69 百万円	解体工事費(既存建物)	21,200 ㎡	530 百万円	解体工事費	21,200 ㎡	530 百万円
・解体工事費 25 千円					グラウンド整備費	17,400 ㎡	383 百万円	グラウンド整備費	17,700 ㎡	389 百万円
・グラウンド整備費(人工芝) 22 千円					シャトルバス運行費	一式	60 百万円	シャトルバス運行費	一式	56 百万円
・埋蔵文化財調査費 60 千円										
		約 84 億円 (移転(引越)費及び什器備品費は除く)			約 90 億円 (移転(引越)費及び什器備品費は除く)			約 96 億円 (移転(引越)費及び什器備品費は除く)		
コメント	完成時ゾーニング	校舎ゾーン、グラウンド・格技場ゾーンとまとまりがあるが、グラウンド面積は小さい			グラウンドが二つに分断され使い勝手が悪い			校舎ゾーン、グラウンド・格技場ゾーンとまとまりがあるが、グラウンド面積は中位の広さ		
	総整備費用	総整備費用は、4番目/7案(小さい順)			総整備費用は、6番目/7案(小さい順)			伏見工業での仮設・改修工事があり、7案の中で最大		
	開校までの期間	開校までの期間が長く、入学生徒が卒業まで新築校舎を利用できない			開校までの期間が長く、入学生徒が卒業まで新築校舎を利用できない			開校までの期間が長く、入学生徒が卒業まで新築校舎を利用できない		
	グラウンド確保の方策	整備期間中はグラウンドが無く、2校で伏見工業グラウンドを利用することになり、シャトルバスが必要、かつ、利用調整が困難			整備期間中はグラウンドが無く、2校で伏見工業グラウンドを利用することになり、シャトルバスが必要、かつ、利用調整が困難			整備期間中は、2校で洛陽工業グラウンドを利用することになり、シャトルバスが必要、かつ、利用調整が困難		
	工事の影響	居ながら工事となるため、教育活動への影響が大きい			居ながら工事となるため、教育活動への影響が大きい			居ながら工事ではないが、2校の同居は、運営上不可能		

評価項目		D案…伏見工業敷地・グラウンド活用した建替案			E案…伏見工業敷地・仮設校舎活用した建替案			F案…伏見工業敷地・全ての機能を洛陽工業に移転・建替案		
位置図		①グラウンドに新築建物を建設 ②新築建物に移転 ③既存建物を解体 ④グラウンド整備  既存建物 新築建物 屋外運動場			①グラウンドに仮設建物を建設, 既存建物を一部改修 ②南側の既存建物を解体し, 新築建物を建設 ③新築建物に移転 ④仮設建物, 残存建物を解体し, グラウンド整備  既存建物 新築建物 屋外運動場 仮設建物			①洛陽工業敷地に仮設建物を建設, 既存改修を行い, 伏見工業の全生徒及び機能を移転 ②既存建物を解体し, 新築建物を建設, グラウンド整備 ③新築建物に移転  既存建物 新築建物 屋外運動場		
面積等	校舎等整備面積内訳	新築面積 18,000㎡ 仮設面積 不要	改修面積 不要 既存活用 4,000㎡ 既存撤去 16,800㎡		新築面積 18,000㎡ 仮設面積 3,200㎡(教室, 食堂)	改修面積 1,600㎡ 既存活用 4,000㎡ 既存撤去 16,800㎡		新築面積 18,000㎡ 仮設面積 9,600㎡(洛陽工業)	改修面積 3,000㎡(洛陽工業) 既存活用 4,000㎡ 既存撤去 16,800㎡(伏見のみ)	
	グラウンド面積	17,500㎡			23,000㎡			23,000㎡		
工程表 * 教育活動に影響のある期間 * 契約に係る期間は除く		 工事着工から開校までの期間: 30.0ヶ月 (校舎が使用可能となるまでの期間: 20.0ヶ月)			 工事着工から開校までの期間: 41.0ヶ月 (校舎が使用可能となるまでの期間: 33.0ヶ月)			 工事着工から開校までの期間: 33.0ヶ月		
事業概算		工事種別	規模	概算費用	工事種別	規模	概算費用	工事種別	規模	概算費用
(工事単価の想定)		建設工事費	18,000㎡	6,300百万円	仮設工事費	3,200㎡	320百万円	仮設工事費(洛陽工業)	9,600㎡	960百万円
・建設工事費		解体工事費	16,800㎡	420百万円	改修工事費	1,600㎡	280百万円	改修工事費(洛陽工業)	3,000㎡	525百万円
・改修工事費		グラウンド整備費	17,500㎡	385百万円	建設工事費	18,000㎡	6,300百万円	建設工事費	18,000㎡	6,300百万円
・美装工事費		シャトルバス運行費	— 式	73百万円	解体工事費(既存建物)	16,800㎡	420百万円	解体工事費	16,800㎡	420百万円
・仮設工事費(含撤去)					グラウンド整備費	23,000㎡	506百万円	グラウンド整備費	23,000㎡	506百万円
・解体工事費								シャトルバス運行費	— 式	80百万円
・グラウンド整備費(人工芝)										
・埋蔵文化財調査費										
		約 72 億円 (移転(引越)費及び什器備品費は除く)			約 78 億円 (移転(引越)費及び什器備品費は除く)			約 88 億円 (移転(引越)費及び什器備品費は除く)		
コメント	完成時ゾーニング	校舎ゾーン, グラウンド・格技場ゾーンとまとまりがあるが, グラウンド面積は中位の広さ			校舎ゾーン, グラウンド・格技場ゾーンとまとまりがあり, グラウンド面積は大きい			校舎ゾーン, グラウンド・格技場ゾーンとまとまりがあり, グラウンド面積は大きい		
	総整備費用	総整備費用は, 2 番目/7 案 (小さい順)			総整備費用は, 3 番目/7 案 (小さい順)			洛陽工業での仮設・改修工事があり, 5 番目/7 案 (小さい順)		
	開校までの期間	入学生徒が, 卒業まで, ほとんど新築校舎を利用できない			入学生徒が, 卒業まで, 新築校舎を利用できない			入学生徒が, 卒業まで, ほとんど新築校舎を利用できない		
	グラウンド確保の方策	整備期間中はグラウンドが無く, 2 校で洛陽工業グラウンドを利用することになり, シャトルバスが必要, かつ, 利用調整が困難			グラウンドが残るため, シャトルバスが不要, かつ, 両校の利用調整も必要なし			整備期間中は, 2 校で伏見工業グラウンドを利用することになり, シャトルバスが必要, かつ, 利用調整が困難		
	工事の影響	居ながら工事となるため, 教育活動への影響が大きい			居ながら工事となるため, 教育活動への影響が大きい			居ながら工事ではないが, 2 校の同居は, 運営上不可能		

4. 整備計画検討(続き)

評価項目		G案…立命館中学校・高校敷地																																																																																																																																																																											
位置図																																																																																																																																																																													
面積等	校舎等整備面積内訳	新築面積 100㎡ (EV等) 仮設面積 —	改修面積 2,600㎡ 美装面積 19,100㎡ 既存撤去 —																																																																																																																																																																										
	グラウンド面積	23,223㎡ (内テニスコート1,782㎡)																																																																																																																																																																											
工程表 * 教育活動に影響のある期間 * 契約に係る期間は除く		<table><tr><td></td><td>0</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td><td>17</td><td>18</td><td>19</td><td>20</td><td>21</td><td>22</td><td>23</td><td>24</td><td>25</td><td>26</td><td>27</td><td>28</td><td>29</td><td>30</td><td>31</td><td>32</td><td>33</td><td>34</td><td>35</td><td>36</td><td>37</td><td>38</td><td>39</td></tr><tr><td>新築施設 (立倉)</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>既存施設</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>			0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	新築施設 (立倉)																																																																																						既存施設																																										
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39																																																																																																																																					
新築施設 (立倉)																																																																																																																																																																													
既存施設																																																																																																																																																																													
		工事着工から開校までの期間：10.0ヶ月																																																																																																																																																																											
事業概算		工事種別	規模	概算費用																																																																																																																																																																									
(工事単価の想定)		改修工事費	2,600㎡	455百万円																																																																																																																																																																									
・建設工事費 350千円		ものづくり工作エリア等																																																																																																																																																																											
・改修工事費 175千円		美装工事費	19,100㎡	1,146百万円																																																																																																																																																																									
・美装工事費 60千円		空調工事費	10,500㎡	368百万円																																																																																																																																																																									
・仮設工事費(含撤去) 100千円		バリアフリー化工事	100㎡	100百万円																																																																																																																																																																									
・解体工事費 25千円		擁壁工事	一式	30百万円																																																																																																																																																																									
・グラウンド整備費(人工芝) 22千円		…グラウンド確保用																																																																																																																																																																											
・埋蔵文化財調査費 60千円		グラウンド整備費	8,000㎡	176百万円																																																																																																																																																																									
・空調工事費 35千円																																																																																																																																																																													
		約23億円／但し購入費は含まず(移転費(引越)及び什器備品費は除く)																																																																																																																																																																											
コメント	完成時ゾーニング	グラウンドが三つに分かれており、ラグビー、野球、テニス他の競技が並存できる																																																																																																																																																																											
	総整備費用	総整備費用は、7案の中で最小																																																																																																																																																																											
	開校までの期間	入学生徒は、当初から統合した高校で学べる																																																																																																																																																																											
	グラウンド確保の方策	工事完了後の移転なので、シャトルバスは不要																																																																																																																																																																											
工事の影響		工事中、生徒はいないので、教育活動への影響はない																																																																																																																																																																											